



総務教育常任委員長
山崎 正男

「定住促進に向けて」

佐賀県多久市

●多久市の概要

多久市は人口2万358人、世帯は7781戸。定住促進のために、当初は企業誘致対策や、人口減少の歯止め策として、まず基本計画を作成し、定住奨励金や雇用者定住促進奨励金、住宅関連施設整備補助金やミニ住宅団地開発を実施しました。そのことで平成19年度から3年間で、約1500万円の黒字を達成しましたがまだ課題もあり、その後も検討や改正等がされました。

その主な内容は

■新婚世帯家賃等補助金

新婚世帯に1万円×48月

■子育て若者世帯定住奨励金

40歳未満の世帯又は中学生

以下の子どもがいる世帯に、上限50万円。

■空き家リフォーム補助金

50万円以上のリフォーム工事に（リフォーム代×10％）上限額50万円。

■三世代同居増改築等補助金

住宅を200万円以上リフォームして三世代同居するものや、住宅を取得して三世代同居するものに（リフォーム代×3％）上限額50万円。

これらは財源の心配もあり、2年ごとに検討がされています。



説明する上瀧主査

多久市のいろいろな奨励金補助金の在り方は黒潮町でも研究すべき価値はあると感じました。定住目的の達成には、住む人のために、日々の環境整備がいかに大切であるかと反省させられました。

「ふるさと納税」日本一

長崎県平戸市

●平戸市の概要

平戸市の人口は3万3572人、世帯は1万4284世帯。当地はふるさと納税で有名になり、各地から来館者が多く接待が大変の様でした。ふるさと納税の市場は全国で2兆円以上とのこと。

●その返礼方法

平成24年度、ふるさと納税の特典を特産品に変更。金額に応じて3つのランクを設定し、平戸瀬戸市場から、お任せで特産品を発送しました。工夫と努力の結果、平成26年度寄付金額14億6千万円余で日本一に輝きました。



「未来創造館」内にての研修の一コマ

●ポイントの取り扱いは

納税金額に応じて還元率を決め、現在の還元率は1万円につき40％を基準としています。高額な寄付については最大50％としています。

●PR方法は

常に先手を打つことが大事で、テレビでも紹介されました。また、市独自のカラーが必要で、このカラーが「ポイント制度」と、市の持つ豊富な資源をうまくカタログに凝縮できたことで全国的に注目を集めました。

●特典カタログ及び特典選定

市内の各部と連携し、平戸瀬戸市場や観光協会等の4団体と調整、増加注目の対応と平戸の更なる魅力PRのために特典選定を十分にしています。

担当職員が信念を持ち、数年かけて取り組んだテレビやメディアとの対応、地域産物やポイント制度の発案、4団体との連携等に対応できたことなどが功を奏したと思われる。特に、信念と情熱と根性のある人が大切だと感じました。黒潮町も大いに努力すべきであると思いました。



平戸城の景色